

しべちゃ図書館大賞 投票結果一覧

一般書部門

投稿者	書名	著者名	出版社	出版年	おすすめポイント
M山N子	フェアリー・テイル（上・下）	スティーブン・キング	文藝春秋	2025年	別の世界へ～!!
匿名希望	ビリー・サマーズ（上・下）	スティーブン・キング	文藝春秋	2024年	今回の依頼を最後にしようと決めた、殺し屋ビリーサマーズの話。上下2巻と長い小説ですが、最初からぐんぐん読者を引き込んで飽きさせることがない。感動のラストに涙することに間違いない。主人公が殺し屋なのに感情移入してしまう、こんな殺し屋いる？
匿名希望	俺たちの箱根駅伝（上・下）	池井戸 潤	文藝春秋	2024年	
ミツコママ	新・富良野風話	倉本 聰	財界研究所	2024年	富良野の「クマ」は気立てのいい奴というのが面白かった。「最後の旦那」の佐治敬三の人柄と人格に心うたれた。倉本氏の書くものは全て納得がいく。
匿名希望	がんになってわかったお金と人生の本質	山崎 元	朝日新聞出版	2024年	北海道出身経済評論家山崎元さんの書籍です。残念ながら2024年1月1日にご逝去されました。 その著者が闘病中に書いたのが本作です。 色々なお金に関する本を読んできましたが、山崎さんの本はどれも初心者にもわかりやすく読みやすい文体で大変勉強させていただきました。 中でも本作はお金の事に留まらずモノ、人生、時間、健康、病気(がん)、幸福についての事柄に総合的に考える内容であり、自分の価値観を見直す機会となりました。 山崎元さんの伝えたい事が全て詰まっているのが本作かと思います。 タイトルからして難しい内容かと思われるかもしれません、読みやすく自分の人生に気づきを与えてくれる良書です。
匿名希望	すべての、白いものたちの	ハン・ガン	河出出版社	2023年	
モフ太郎	汝、星のごとく	凪良 ゆう	講談社	2022年	本書は、恋愛小説に分類されると思いますが、恋愛だけでなく人生を生きていく上で肝となる考えを教えてくれる本だと感じました。作中で「自分の人生を生きることを、他の誰かに許されたいの？」という言葉がでてくるんですが、自分の人生の舵を自分でとる大切さについて教えていただいたように思います。普段、恋愛小説を読まない方や自分の人生に迷っている人にぜひ読んでもらいたい作品です。
匿名希望	すべての瞬間が君だった	ハ・ワテン	マガジンハウス	2020年	エッセイの本だけどとても心にしみておもしろかった。ぜひいろんな人に読んでほしい。
匿名希望	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	サンマーク出版	2015年	コーヒーが冷めないうちなら過去に戻ることができるが、ルール上現在を変えることはできない。でも、過去の真実を知ることで自分の心を変えることはできるのだ、と深く考えさせられる一冊です。
なかまかな	侍女の物語	マーガレット・アトウッド	早川書房	1985年 (和訳は 2001年)	アメリカの近未来の設定ですが、知らず知らず怖いディストピア（ユートピアの反対）の世界へ引き込まれます。が、もっと怖いのは40年後の現実社会がそれに近づいていることです。同じ著者による続編「誓願」（2019）あり。

児童書部門

投稿者	書名	著者名	出版社	出版年	おすすめポイント
もりお	イタチと野ネズミのはなし	山下 雅洋	アリス館	2025年	孤独なイタチがおいしいスープを作る野ネズミと出会い一緒に暮らし始めます。徐々に心を通わせる2人でしたが、ある日、野ネズミがいなくなって...。大切な誰かを想う1冊。しかもかわらゆみさんの挿絵もとても素敵です。
匿名希望	じごく小学校	有田 奈央/作 安楽 雅志/絵	ポプラ社	2023年	いたずらの天才のいたずらつよしがじごくせかいにあるじごく小学校に行くところ
みゅうみゅう	ちいさなトガリネズミ	みやこし あきこ	偕成社	2022年	平凡な暮らしって、じつはとっても幸せなんだよ、と教えてくれる絵本。おひとりさまの私にも「だいじょうぶ、そのままいけ！」と言ってくれてるみたい。絵もとてもステキ。
イカの寿司才	つかめ！理科ダマン	シン・テフン	マガジンハウス	2021年	漫画もありつつ理科を学べるところ。
宮西葵唯	サッカーヒーロー超百科『世界編』	オグマ ナオト&サッカーヒーロー研究会	ポプラ社	2018年	
匿名希望	ともだちのひっこし	宮野 聰子	PHP研究所	2017年	いつもいっしょの2人がはなれてしまうかんどうてきなところがすごくいいです。
ホッケー大好き	科学の実験大図鑑	ロバート・ウィンストン	新星出版社	2017年	
匿名希望	ねこの駅長たま	小嶋 光信	KADOKAWA	2016年	
かんかん	Life	くすのき しげのり/作 松本 春野/絵	瑞雲社	2015年	続きたの本「Love Letter 私への手紙」とあわせて、優しくて、少し悲しい心温まる物語でした。絵も素敵です。
真一茶子	干潟のサバイバル	ゴムドリco.	朝日新聞出版	2011年	干潟に行ったときの説明がびっしり書いてあるところがおすすめです。
コぬサ	ほねほねザウルス シリーズ	ぐるーふ・アンモナイト	岩崎書店	2008年~	よみやすい!!種類がいっぱいある!!
匿名希望	イーグル号航海記 (1~3)	斉藤 洋	偕成社	2007年~	イーグル号がアップグレードしていくおもしろかった。

投票していただいた皆さん、ありがとうございました！！